

目 次

1	会 議 関 係	1
2	事 業 関 係	4
3	善 意 銀 行 関 係	5
4	地 域 福 祉 関 係	7
5	ボランティア・市民活動センター事業	9
6	地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	11
7	区地域福祉見守り活動応援事業	13
8	生活支援体制整備事業	14
9	生活福祉資金貸付業務	15
10	生活困窮者自立支援事業	15
11	大阪府共同募金会 西地区募金会	16
12	日本赤十字社 大阪支部西地区	16
13	あんしんさぽーと事業	16
14	通所介護（デイサービス）事業	17
15	地域包括支援センター事業	18
16	認知症初期集中支援推進事業	21
17	介護予防事業	22
18	老人福祉センター事業	22
19	子ども・子育てプラザ事業	24
20	コミュニティ育成事業	25

1 会議

- 第1回理事会 書面会議 5月28日
- 第1号議案 令和2年度事業報告（案）について
 - 第2号議案 令和2年度決算報告及び監査報告（案）について
 - 第3号議案 理事・監事の推薦について
 - 第4号議案 評議員の推薦（案）について
 - 第5号議案 職員就業規則等（案）の改正について
 - 第6号議案 第1回評議員会の開催（案）について
 - 第7号議案 会長職務執行状況の報告について
- 第1回善意銀行運営委員会 書面会議 5月28日
- 第1号議案 各地域への助成金交付について（案）
- 第1回西区共同募金配分金・地域募金助成金審査委員会 書面会議 5月28日
- (1)令和2年度 西区共同募金配分金・地域募金助成事業の結果報告について
 - (2)令和3年度 西区共同募金配分金について
 - (3)令和3年度 西区共同募金配分金・地域募金助成金事業(案)
- 第1回広報部会 書面会議 5月28日
- 第1号議案 ふれあい西区72号の発行について
- 第1回評議員選任・解任委員会 6月9日
- 第1号議案 評議員候補者の選任（案）について
- 第1回評議員会 書面会議 6月14日
- 第1号議案 令和2年度事業報告（案）について
 - 第2号議案 令和2年度決算報告及び監査報告（案）について
 - 第3号議案 理事・監事の選任（案）について
 - 第4号議案 職員就業規則等（案）の改正について
 - 第5号議案 新評議員の選任の報告について
- 第2回理事会 6月18日
- 第1号議案 会長及び副会長の選定（案）について
 - 第2号議案 評議員選任・解任委員の選任（案）について
 - 第3号議案 評議員の選任報告について
 - 第4号議案 その他
 - (1)地域福祉推進基金にかかる懸案事項について
 - (2)金婚お祝い会について

第1回西区ボランティア・市民活動センター運営委員会 書面決議	6月18日
(1)令和2年度 事業報告(案)	
(2)令和3年度 事業計画(案)	
(3)令和3年度 西区ボランティア活動助成金について(案)	
第2回西区共同募金配分金・地域募金助成金審査委員会	7月28日
(1)令和3年度 共同募金配分金・地域募金助成金申請団体及び助成金交付 ・不交付及び交付金額の決定について	
第1回西地区共同募金会理事会 書面会議	9月6日
令和2年度会計監査報告	
第1号議案 令和2年度西地区共同募金会実績報告	
第2号議案 令和2年度西地区共同募金会事務費収支報告	
第3号議案 令和3年度西地区共同募金配分状況報告	
第4号議案 令和3年度西区共同募金会一般募金運動の実施について	
第2回広報部会	10月1日
第1号議案 ふれあい西区73号の発行について	
第2回善意銀行運営委員会 書面会議	
第1号議案 歳末たすけあい運動にかかる助成金について (案)	11月10日
第3回理事会 書面審議	11月10日
第1号議案 第1次追加補正予算(案)について	
第2号議案 情報公開規定の制定(案)について	
第3号議案 経理規程の改正(案)について	
第4号議案 育児・介護休業規定の改正(案)について	
第5号議案 評議員候補者の推薦(案)について	
第6号議案 第2評議員選任・解任委員会の開催(案)について	
第7号議案 第2回評議員会の開催(案)について	
第8号議案 西区子ども・子育てプラザにかかる業務委託の公募(案)について	
第2回評議員選任・解任委員会 書面会議	11月17日
第1号議案 評議員の選任(案)について	
第2回評議員会 書面会議	11月24日
第1号議案 第1次追加補正予算(案)について	
第2号議案 情報公開規定の制定(案)について	
第3号議案 経理規程の改正(案)について	
第4号議案 西区子ども・子育てプラザにかかる業務委託の公募(案)について	

その他

- ・新評議員の選任の報告について、会長職務執行状況報告について

第3回広報部会

12月13日

第1号議案 ふれあい西区74号の発行について

第2回西区ボランティア・市民活動センター運営委員会 書面決議

2月28日

(1)西区ボランティア・市民活動センター利用の手引き（案）について

第4回理事会

3月10

第1号議案 令和3年度第2次追加補正予算（案）について

第2号議案 令和4年度事業計画及び予算（案）について

第3号議案 定款の変更について

第4号議案 経理規程の改正（案）について

第5号議案 役員等賠償責任保険の契約更新（案）について

第6号議案 第3回評議員会の開催（案）について

その他

- ・地域福祉活動推進基金の資金運用について
- ・西区子ども・子育てプラザにかかる子育て活動支援事業他2事業の受託について
- ・西区生活困窮者自立支援事業の受託について
- ・西区コミュニティ育成事業の受託について

第3回評議員会 書面会議

3月24日

第1号議案 令和3年度第2次追加補正予算（案）について

第2号議案 令和4年度事業計画及び予算（案）について

第3号議案 定款の変更について

第4号議案 経理規程の改正（案）について

その他

- ・地域福祉活動推進基金の資金運用について
- ・会長職務執行状況報告について
- ・西区生活困窮者自立支援事業の受託について
- ・西区コミュニティ育成事業の受託について

2 事業

(1)各事業等

- 6月15日 広報紙「ふれあい西区」第72号発行
- 7月 5日 子育て交流会「てをつなごう！week！」①《西区子ども・子育てプラザ》
「手作りおもちゃやパネルシアターを楽しもう！」（参加者：20組）
- 6日 子育て交流会「てをつなごう！week！」②《江戸堀公園》
「しゃぼん玉であそぼう！&読み聞かせ」（参加者：34組）
- 9日 子育て交流会「てをつなごう！week！」⑤《西区社会福祉協議会》
「ベビーマッサージで癒されよう！」（参加者：9組）
※7日、8日は雨天のため中止
- 10月～ 金婚夫婦お祝いのため記念品贈呈（該当者50組）
- 10月 9日 多文化共生実践講座／多文化交流会《西区社会福祉協議会》
講師：大阪国際交流センター（参加者：6名 ゲストスピーカー：5名）
- 10月15日 広報紙「ふれあい西区」第73号発行
- 12月21日 障がいあれこれ～聞いて聞いて私たちの声～パート16～ ※オンライン開催
「コロナ禍での避難所づくり」講師：八幡隆司氏（認定NPO法人ゆめ風基金）
（参加者：34名）
- 1月29日 コロナ禍における新しい防災教育・訓練 ※オンライン開催
「オンライン型防災アトラクション「ザ・リモート」」
（参加者：午前86組・午後63組）
- 1月15日 広報紙「ふれあい西区」第74号発行
区社協リーフレット、災害ボランティアガイドブックの発行

(2)その他定例開催事業等

- | | |
|-----------------------------------|----|
| ・西区高齢者食事サービス事業連絡会（※2月に予定していたが、中止） | 1回 |
| ・子育て交流会「てをつなごう！」連絡会 | 3回 |
| ・子育て情報紙編集委員会 | 2回 |
| ・西区障がい者・児ネットワーク「そよかぜ」（偶数月第4火曜） | 3回 |
| ・西区社会福祉施設連絡会（ハイブリッド型での開催） | 2回 |

(3)地域活動者向けオンライン講座の開催 講師：株式会社オオサカムセンデンキ

- ①令和3年11月24日（水）午前 江戸堀、堀江、高台、日吉、本田、九条南
- ②令和3年11月24日（水）午後 明治、広教、千代崎、九条東
- ③令和3年11月25日（木）午前 西船場、西六、九条北

(4)広報・啓発活動等

西区社協のリーフレットを刷新及び公式 Instagram を開設。

コチラからアクセス
していただけます →



OSAKANISHIKUSHAKYO



3 善意銀行

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

1. 現金奉仕口座

〈敬称略〉 (単位：円)

月 日	現金預託者	金 額	年 月 日	現金預託払出先・内容	金 額
6月18日	(株)丸高製作所	96,000	4月16日	残高証明書手数料（普通預金）	440
6月30日	匿名希望	10,000	4月26日	残高証明書手数料（普通預金）	440
8月14日	銀行利息（普通預金）	8	7月21日	14地域子育てサークル助成金	280,000
9月5日	銀行利息（定期預金）	87	8月～3月	14地域社会福祉協議会助成金	1,119,391
10月3日	銀行利息（定期預金）	62	11月25日	西区民生委員児童委員協議会助成金	150,000
10月28日	野口千代子	50,000	1月11日	ふれにレクロスワードパズル当選者景品	5,000
12月21日	(株)丸高製作所	96,000	1月13日	ふれにレクロスワードパズル当選者通信費	1,500
2月12日	銀行利息（普通預金）	6	2月10日	14地域子育てサークル通信費	1,008
預託合計		252,163	払出合計		1,557,779

2. 物品奉仕預託口座

〈敬称略〉

月 日	物品預託者 ・ 法人 ・ 団体名	物 品 預 託 名	数 量
5月20日	堀江連合振興町会	インスタントラーメン 30袋入り	40箱
		丸餅	13袋
6月28日	五大物産株式会社	食品、調味料、飲料等	計163箱
7月17日	匿名希望	大人用尿取りパッド	9袋
		吸引器	1台
9月3日	匿名希望	ポータブルトイレ	1台
		一本杖	2本
		四点杖	1本
9月6日	(株)一番星訪問介護ケアセンター	マスク	1万枚
	(株)ブリリアントスター	アルコール消毒液	100ℓ
	(株)如水SPA一寸法師	非接触体温計（スタンド式）	2台
9月24日	匿名希望	衣類、タオル、寝具、調理器具、雑貨等	
10月4日	中井智鶴子	文具	
10月9日	一般社団法人令和晶の会（藤田幸司）	ロングTシャツ	15着
10月26日	五大物産株式会社	食品	176箱
11月12日	株式会社デザインアーク	カーテンはぎれ	
12月1日	田尻宏	タオル56枚、洗濯洗剤4個、台所洗剤3個、三角コーナーネット、プラスチック容器	
1月20日	東急ドエルアルス阿波座	餅 1 kg	5袋
1月22日	ボランティアグループひまわり	雑巾	22枚
2月1日	堀江連合振興町会	ラーメン5袋入り、餅 1 kg	5パック、84袋
3月22日	国連プライド日本	マスク、マスコット	2,000枚、200個

月 日	物 品 払 出 先	物 品 名	数 量
5月20日	プラットホーム西	ラーメン	5箱
5月20日	スマイル西	ラーメン	4箱
5月21日	西区包括支援センター	ラーメン	12箱
		丸餅	8袋
5月24日	西区障がい者・児ネットワーク「そよかぜ」	ラーメン	19箱
		丸餅	5袋
6/28～ 7/5	西区在宅デイサービスセンター、西区地域包括支援センター、西作業所、デステック、スマイル西ひかり、すぎのこ学童クラブ、Café MILLO、こもれび、西区高齢者食事サービス事業連絡会	食品、調味料、飲料等	計163箱
7月26日	西区在宅デイサービスセンター	尿取りパッド	9 袋
7月27日	社会福祉法人 江之子島コスモス苑	吸引器	1台
9月7日	西区地域包括支援センター	一本杖	2本
		四点杖	1本
9月8日	三共グループ(株)	ポータブルトイレ	1台
9月21日	各地域会館	マスク（50枚入り）	各10箱
		アルコール消毒液 5L	各1本
9月24日	西区在宅デイサービスセンター	衣類、タオル、寝具、調理器具、雑貨等	
10/9～ 10/15	うつぼ子ども食堂、こもれび、一般社団法人令和晶の会、すぎのこ学童クラブ、医療生協ながほり通り診療所	マスク	各3箱
10月15日	西区在宅デイサービスセンター	ロングTシャツ	15着
10/26～ 11/5	青少年指導員連絡協議会、こもれび、うつぼこども食堂、ウィステリア、ながほり通り診療所子ども食堂、子ども会連絡協議会、児童院、令和晶の会、スマイル西ひかり、てらキッズ、ぷらっとほーむ西、西区包括支援センター、西区在宅デイサービスセンター	食品	176箱
12月8日	西区在宅デイサービスセンター	タオル56枚、洗濯洗剤4個、台所洗剤3個、三角コーナーネット、プラスチック容器	
1月21日	すぎのこ学童クラブ	餅 1 kg	5袋
1月25日	西区在宅デイサービスセンター	雑巾	12枚

4 地域福祉関係

地域福祉活動を推進するため、地域社会福祉協議会への助言、指導、高齢者食事サービス、ふれあい喫茶、子育てサロン等の住民福祉活動への支援、区、関係団体や様々な支援連絡会との連携や支援、ボランティア活動の支援、学校や企業への福祉教育の推進、広報活動、防災訓練など地域住民や関係団体と連携し・協働し区のニーズや課題に対して取り組みを進めた。

事業内容	事業内容（具体的）	実施場所	実施時期	回数等
（１）地域福祉活動に対する助言・指導等事業				
ア 地域福祉活動の状況把握と助言・情報提供	各地域会館や活動拠点へ出向き、地域活動者や活動現場から福祉活動実施状況の確認を行い、必要な情報提供および活動者同士の調整等を行った。	各地域会館、川口基督教会、靱パークサイドコーポ、西長堀団地、正福寺、勝光寺、西区民センターなど	通年	191回
イ 地域福祉活動にかかわる地域における各種団体の役員・活動者等を対象とした会議・研修の開催及び参画	地域社会福祉協議会、振興町会、地域活動協議会、民生委員児童委員協議会、見守り員連絡会（団体、役員、個人）などが実施・参画する会議やその活動・行事に対する参加・相談支援、講座・研修会の開催。	区社協、各地域会館、ヴィアーレ大阪など	通年	97回
	コミュニティ育成など地域づくりに関係する地域関係者との会議・研修などを行い、作品展、パバママキッズよっといでなどの実施により多世代の地域コミュニティへの参加を目指した。	西区民センター、松島野球場など	通年	52回
ウ 地域福祉推進のための計画・ビジョン・アクションプラン等の策定・推進への参画	区の取り組みに関連する会議や行事の計画・実施に向けての部会など（「てをつなごう連絡会」など）への参画および取り組みへの支援	区役所、区社協、江戸堀公園、西区子ども・子育てプラザなど	通年	23回
エ 地域支援システム等の検討・推進への参画	民生委員児童委員及び主任児童委員と区内小・中学校との交流会での情報提供、高齢者支援担当者部会、つながる場、障がい者自立支援協議会など各種会議へ参加。	区役所、区社協	通年	20回
オ 広報啓発	区社協広報誌・ボランティア通信・周知チラシの発行など区社協事業・講座の広報や啓発活動。区内企業や施設等へチラシ等の設置場所を協力依頼し、区民に区内施設情報等を広く周知した。ホームページやSNSを活用した広報啓発を行った。	各商業施設等、区社協など	通年	37回

(2) ボランティア活動等の支援事業				
ア ボランティア活動の登録・需給調整	ボランティア需給調整、新規活動者の登録、ボランティア活動の需給調整等を行った。	区社協	通年	10回
イ ボランティアに関する相談・問い合わせ等への対応	活動希望者の相談・問い合わせに対する助言・指導、個別活動に関する相談・問い合わせに対する助言・指導などを行った。	区社協	通年	44回
ウ ボランティアグループの支援	ボランティアグループへの市民活動センターの貸与、活動についての助言指導や助成金の情報提供、現場での状況把握を行った。	ボランティア・市民活動センター、区社協、区内施設	通年	90回
エ ボランティアの養成	初心者向け・活動者向けなどボランティア講座の開催やボランティア同士の連携機会の調整・支援、活動場所の確保につながる会議・研修などの実施（ボランティア交流会など）	区社協、子ども子育てプラザ、西区民センター	通年	5回
オ 福祉教育の推進	学生や企業などを対象に福祉教育を行い、高齢者や障がい者への理解を深め、実際のボランティア活動につなげた。	大阪歯科学院、区社協、九条東小学校など	通年	18回
(3) 地域福祉推進のための連絡調整事業				
ア 地域福祉課題の整理及び関係機関との連絡調整、課題解決方策の検討・協議	区役所、地域活動者、事業者等との連絡調整を行い、課題解決に向け検討し、調整を行い、課題解決に向けた検討会や協議を行った。社会福祉講演会を開催した。	区社協、各病院、居宅支援事業所、居宅事業所、児童院、消防署、障がい事業所など	通年	41回
イ 施設連絡会・部会等の準備・開催	施設連絡会を開催し、各施設における情報共有や課題を抽出し、解決策について検討した。	区社協、区内社会福祉法人、西区役所	通年	11回
	高齢者、障がい者・児関係の部会、子育て支援連絡会等にて関係者、当事者とともに情報共有や課題抽出を行い、解決策について検討した。	区社協、民生委員児童委員協議会、区内障がい者関係団体など	通年	11回
(4) 「区災害ボランティア活動支援センター」の設置及び総合調整等				
	環境整備や防災教育（オンライン型防災アトラクション）を開催。	江戸堀地域防災訓練、日吉地域防災訓練、区社協、西区役所など	通年	16回
	区内学校や地域内で実施される防災訓練への参画と状況把握。		通年	20回
これらの活動に対するアンケート結果等をもとにした自己評価				3.7

5 ボランティア・市民活動センター事業

さまざまなボランティアグループや個人ボランティアの活動拠点として運営している。ボランティア・市民活動センターにアクリル板やサーキュレーターを設置し、利用のルールを決めることで、コロナ禍でも利用を継続できるよう後方支援を行った。また、感染症対策に配慮しながら、講座の開催や福祉教育、防災への取り組み、ボランティア交流会などを実施し、新たな人材の発掘やスキルアップにつなげるとともに、関連機関との連携をより深めるよう取り組みを進めてきた。

1. 重点的に取り組んだ内容

	取り組んだ内容	詳細	成果・今後の方向性
1	ボランティア・市民活動センターでのサロン活動について	ワイワイほっとサロン 共催：大阪西区100才倶楽部 毎月第4月曜日	新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止した。運営者、参加者ともに活動の再開を切望しており、今後の情勢を見ながら再開を検討していく。
		サロンそよかぜ 共催：西区障がい者・児ネットワーク「そよかぜ」 奇数月第2土曜日	新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止した。サロンに集う方々が気軽に悩みを分かち合い、障がい者・児の福祉の向上を目指し、情勢を見ながら再開を検討していく。
2	福祉教育の推進	疑似体験等を通して身近で出来る支援を学ぶことを伝える。学校での体験授業では校区の役員や登録ボランティアグループの参加も得て充実した福祉教育の場を目指す。	少数ではあるが、再開できた学校があった。今後も感染症対策に考慮した福祉教育のあり方を学校と一緒に検討していく必要がある。 また、福祉教育からボランティア依頼に繋げることができた。
3	ボランティア養成講座の開催	高齢者にスマホを教えるサポーターの養成講座を開催した。	受講者の中から、ボランティアグループ「スマホくらぶ」が発足。メンバーのスキルアップや新たなメンバーを募りながら、地域にも周知していく。
4	登録ボランティアグループの周知	ボランティアグループ紹介冊子の更新	「みんなつながるボランティア・市民活動センター」の情報更新。より見やすくイメージが伝わりやすいよう冊子に写真を入れ改訂した。
		ボランティアグループ紹介動画の作成とホームページの改修	ボランティア活動を始めたい人や依頼したい人に、ボランティア情報を分かりやすく伝えるため、ボランティア・市民活動センターを含めた12グループの紹介動画をホームページ上で閲覧できるよう作成した。動画の他にも、「ボランティア依頼書」を新たに掲載し、情報が探しやすいようホーム
5	ボランティア通信の発行	ボランティア情報と報告などを掲載した通信を区社協の廊下に大きく掲示したり、各関係機関に設置し	ボランティア情報を周知し、活動者の意欲向上と新たな担い手の発掘に寄与する。
6	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンへの参画	応募した団体に、買い物客が応援したい団体BOXにレシートを投函することで、レシート合計額の1%が団体に還元される。	イオンの社会貢献の一環であるキャンペーンに9団体が応募。当区社協が窓口となり、イオンと良好な関係づくりが構築された。今後も店舗を借りて社協の広報ができる。

2. 運営・基盤事業

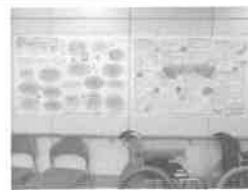
	事業名称	備考（内容等）
1	ボランティア交流会	ボランティアグループの紹介動画や「西区ボランティア・市民活動センター利用の手引き」を作成したことの報告、新たに発足したボランティアグループ「スマホくらぶ」の紹介、ボランティア保険や助成金、活動計画等の説明と連絡（1回開催）
2	ボランティア・市民活動センター運営委員会	西区ボランティア活動助成金の申請審査、西区ボランティア・市民活動センター利用の手引きの策定など（2回開催）

3. 啓発・広報事業

	事業名称	備考（内容・啓発先等）
1	西区ボランティア・市民活動センターだより「ボラにし」	区内施設、地域会館、ホームページ（7回発行）
2	各ボランティア養成講座の取り組み	スーパー、公共施設、地域会館にちらし設置、ホームページ、Instagram

4. ボランティア養成事業

	事業名称	実施時期	備考（内容等）
1	スマホサポーター養成講座	令和3年6月～11月	【講座編】区社協会議室で開催。3回講座でスマホの使い方を学ぶ。 ①iPhoneの基本操作とメールやマップを使おう ②カメラ・写真を使おう ③LINEを使おう 【実践編】老人福祉センターで開催。3回講座を受講する高齢者のサポート役として参加。 【振り返り会】度重なる緊急事態宣言で講座から実践編までの期間が延びてしまったため、区社協会議室で1回開催。



5. 福祉教育について

	実施場所	内容	対象者	参加人数	実施時期
1	大阪歯科学院専門学校	車いす・認知症サポーター養成講座	学生	52名	中止 ※ 認知症サポーター養成講座のみ実施
2	大阪市立中央図書館	座学「高齢になるってどんなこと？」介護保険制度、認知症、高齢になることについて、施設での生活等	図書ボランティア養成講座受講者	36名	10月
3	九条東小学校	点字・手話	4年生	15名	12月
4	大阪市立中央図書館	手話講座（オンライン）	市内職員	200名 (当日30名)	2月

6. 協働・共催事業について

	事業名称	備考（協働・共催した主な団体名）
1	認知症サポーター養成講座	包括支援センター、介護事業所、専門学校、企業、図書館

○認知症サポーター養成講座

「キャラバン・メイト養成講座」受講しキャラバン・メイトとなり、地域住民や一般職域団体の従業員に対して、認知症の正しい知識を広め、認知症の人や家族を支援する人（認知症サポーター）を養成する講座を開催する。

当会では、地域支援担当、地域包括支援センター、認知症初期集中支援事業、見守り相談室の担当職員がキャラバン・メイトとなり養成講座を実施するとともに、地域の介護事業所、福祉関係施設、企業などのキャラバン・メイトとキャラバンメイト連絡会を運営し、活動している。（平成19年12月から実施）

【西区での認知症サポーター養成講座開催数・養成人数】

	開催日数	参加数	参加団体
令和3年度	22	375名	(株)スーパーコート、西区社会福祉協議会（西区民）、大阪歯科学院専門学校、大阪市中心図書館、東神実業(株)、大阪信用金庫、行岡医学技術専門学校、本田女性会など

（参考）

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2
開催日数	4	16	12	3	7	14	6	11	13	14	17	19	25	6
参加数	108	617	571	103	308	603	139	193	370	486	467	543	594	187

7. ボランティア需給調整事業

(1) 個人登録

R4年4月1日現在	新規登録	登録解消
23	5	11

※登録のみで5年以上活動していない方、及び連絡先に繋がらない方を除き、

(2) グループ登録・一覧

R4年4月1日現在	新規登録	登録解消
32	1	2

(3) 援助依頼・需給調整

・高齢者	2件
・障がい者・児	2件
・子ども	3件
・その他	1件

※新型コロナウイルス感染症の影響により、区内の高齢者施設はボランティアの受け入れ再開未定。区外の施設から依頼が入り、活動につながった。

6 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

大阪市より事業委託として設置された見守り相談室は、要援護者に対し、日ごろからの見守り活動や住民間のつながり、社会資源のネットワーク強化を図るため、地域の各種団体と協力し働きかけを行っている。また、自らSOSを発信できない要援護者に対して、積極的なアウトリーチにより信頼関係を構築し、適切な支援につなげられるよう取り組んでいる。

現在、見守り相談室では次の事業を実施している。

- (1)機能1：災害時に活用できる要援護者名簿にかかる同意確認・名簿整備
- (2)機能2：見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応
- (3)機能3：認知症高齢者見守りネットワークによる徘徊者保護の強化

1. 機能1「要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備」

(令和3年度発送対象者)

- 高齢者(要介護3～5、要介護2以下で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方)
- 身体障がい者【1・2級】
- 知的障がい者【A】
- 精神障がい者【1級】
- 視覚障がい、聴覚障がい【3・4級】
- 音声、言語機能障がい【3級】
- 肢体不自由(下肢、体幹機能障がい)【3級】
- 難病をお持ちの方

ア 郵送による同意確認

発送地域	新規対象者	再発送数	回答数	同意件数	不同意件数
14地域	409人	414件	377件	161件	216件

※同意の方については事業説明と提出書類の内容確認を行う。

※不同意の方については、事業説明、現状把握、不同意理由の確認を行う。



西区見守り相談室

マスコットキャラクターきずなちゃん

イ 見守り員連絡会の開催

同意回答者について、地域提供リストを作成し、地域社協や連合、ネットワーク委員会、民生委員児童委員協議会等へ「要援護者情報」としてリストを提供している。それに基づき各地域の住民が「見守り員」として対象者へ向けた訪問、電話等による平時の見守り活動が開始されている。

令和3年度 見守り員連絡会開催数(のべ回数)	30回
------------------------	-----

地域別見守り進捗状況

地域名	見守り対象者人	見守り員	
		人数	主な構成員
西船場	38	7	社協会長、連合会長、民生委員、女性会、見守りコーディネーター
江戸堀	78	10	社協会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーター
靱	31	9	社協会長、連合会長、民生委員、女性会、見守りコーディネーター
明治	20	8	社協会長、連合会長、町会長、民生委員、見守りコーディネーター
広教	97	10	社協会長、連合会長、民生委員、主任児童委員、見守りコーディネーター
西六	84	10	社協会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーター
堀江	109	31	社協会長、連合会長、町会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーター
高台	55	13	社協会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーターなどネットワーク委員
日吉	84	9	社協会長、連合会長、民生委員、主任児童委員
千代崎	48	5	社協会長、連合会長、民生委員
本田	142	14	社協会長、連合会長、町会長、正副福祉部長、民生委員、女性会、見守りコーディネーター
九条東	64	4	社協会長、女性会、見守りコーディネーター
九条南	65	16	社協会長、連合会長、民生委員、主任児童委員、女性会、見守りコーディネーターなどネットワーク委員
九条北	152	13	社協会長、連合会長、民生委員、女性会、見守りコーディネーター
合計	1067	159	

2. 機能2「孤立世帯等への専門的対応」

ア 相談件数 (件)

合計	訪問	電話	来所	その他
2024	369	1298	36	321

イ 相談実人員 (人)

相談実人員	男	女	不明
936	367	567	2

ウ 対象者属性内訳 (人)

要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外の高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児	難病	引きこもり	ごみ屋敷	生活困窮者	子育て中の保護者	その他 (65歳未満・障がいなし)
514	25	323	46	8	0	3	0	0	0	1	16

エ 相談内訳 (件)

経済・生活問題	福祉サービス	保健・医療	介護	子育て	就労	いきがいづくり	虐待	家族・家庭問題	見守り訪問	ごみ屋敷	その他
81	73	12	9	0	1	0	5	14	1746	20	211

オ 関係機関・地域団体等との連携 (件)

	合計	地域団体等	民生委員協議会	区社会福祉協議会	社会福祉施設・介護サービス事業者等	学校・園	行政機関	専門相談機関	地域包括支援センター	本人	家族	医療機関・病院	地域住民	その他
相談元	486	19	4	16	11	0	28	1	2	220	125	1	12	47
連携先 (支援連携)	843	77	4	292	96	0	75	7	71		44	21	1	155
つなぎ先 (結果)	131	2	0	16	56	0	6	2	2		19	11	1	16

3. 機能3「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

認知症高齢者等が行方不明になった場合に、警察捜索の補完的なものとして、早期発見・保護につなげる仕組みとして事業展開を行っている。事業協力者については、令和4年4月末現在で90件の登録数となっている。

7 西区地域福祉見守り活動応援事業

平成25年度からの実施事業。各地域会館を拠点とし、各地域1名見守りコーディネーターを配置。地域の高齢者・障がい者で支援の必要な方の見守り活動を行う。また、地域の高齢者・障がい者の孤立を防ぎ地域のつながりをつくっていくため、これまでコミュニティにかかわりを持っていなかった人への見守り活動や各関係機関やライフライン事業等とのつなぎ役として活動を展開している。平成27年度からは、大阪市全域で実施されている『要援護者見守りネットワーク強化事業』との連携を行い、地域内での見守り組織と連携し、活動を展開している。

1. 見守りコーディネーターの活動状況

- ・オンラインやハイブリッド、感染予防策をとりながら連絡会を開催し、活動報告や情報交換を実施。
- ・コロナ禍であっても感染予防策をとりながら各地域にて訪問や電話にて高齢者・障がい者の見守り活動を行う。
また、必要に応じて、各関係機関と連携し必要なサービスなどへつなぐ。
- ・高齢者、障がい者の支援に必要なスキルアップ、オンラインでつながる方法の勉強会を開催。

2. 令和3年度見守りコーディネーター勉強会及び研修 一覧

日程	参加者数	内容
第1回 (9/10) 第2回 (10/8)	13	(1)身体を動かすレクリエーション・脳トレになるレクリエーション (2)訪問入浴サービス・訪問看護サービス・介護保険制度について
その他		オンライン研修、人権研修など

3. 令和3年度 西区見守りコーディネーター活動報告

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
電 話	246	563	417	325	255	283	237	238	218	271	286	290	3,629
来 所	936	439	694	1,074	738	1,157	1,379	1,161	1,374	873	857	1,093	11,775
訪 問	396	358	372	384	323	381	372	384	340	331	308	328	4,277
総件数	1,578	1,360	1,483	1,783	1,316	1,821	1,988	1,783	1,932	1,475	1,451	1,711	19,681
関係機関との調整	153	165	209	182	157	188	215	152	149	123	154	170	2,017
個別ケース会議	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3



見守りコーディネーター連絡会（オンライン）



研修会

8 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者が参加・活躍できる場・介護予防に取り組める場の充実やご近所同士で支え合えるしくみを地域住民と検討し、高齢者の生活支援体制の拡充を目的としている。

1. ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

- ・生活支援体制整備事業協議体（西区高齢者支援担当者部会）の開催 2回（書面会議）
- ・生活支援体制整備事業協議体ワーキング（実務者会議）の開催 7回
- ・各種関係会議への出席（西区高齢者障がい者支援連絡会、4事業者連絡会、見守りコーディネーター連絡会 等）

2. 地域資源・サービスの立上げ支援、講座の開催等

- ・高齢者が参加・活躍できる場の立上げ支援、休止している場の再開支援
男の座学、スマホくらぶ、江戸堀健康麻雀、お手紙交換の取組み 等
- ・サロンの立上げ支援や担い手確保に関する講座
スマホサポーター養成講座 8名
野菜づくりをはじめませんか 10名
つながるZOOM講座（ボランティア・高齢者対象） 14名
いつまでも元気に自転車で出かけるために！ 20名
- ・介護予防に資する場の開催
60歳からのカラダのつくり方サークル 22回開催（オンライン開催含む） のべ参加者483名

3. サービス実施情報等の周知

- ・サロン&立ち寄り処マップ・カレンダー発行（毎月発行）



江戸堀健康麻雀



スマホサポーター養成講座

9 生活福祉資金貸付業務

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に資金の貸付と民生委員による必要な生活支援を行う事により、経済的自立および生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を支援する。

令和3年度 運用状況（相談、対応件数）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	貸付決定数	
(1) 総合支援資金	5	13	19	6	10	14	17	7	5	8	9	9	122	0件	
●臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3		
●自立相談支援機関からの 情報提供及び相談件数	3	5	4	3	2	2	3	3	5	1	3	5	39		
(2) 福祉資金（小口除く）	貸付	5	2	5	2	5	4	10	3	6	6	4	3	55	1件
	償還	0	1	4	0	2	0	0	1	3	0	0	0	11	
緊急小口資金	貸付	6	7	7	3	10	8	7	4	6	7	3	4	72	1件
	償還	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
(3) 教育資金	貸付	10	3	5	0	6	7	4	10	7	6	8	11	77	4件
	償還	0	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	0	7	
(4) 不動産担保型 生活資金	貸付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	償還	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計(相談件数、償還除く)	26	25	36	11	31	33	38	26	24	28	24	27	329	6件	

令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例貸付制度 運用状況

（大阪府社会福祉協議会より受付事務を受託／令和2年3月25日～）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口資金 受理	130	142	196	131	130	93	77	88	42	25	50	48	1152件
総合支援資金 受理	124	114	200	121	127	123	58	96	53	41	35	55	1147件
総合支援資金（延長）受理	76	172	48										296件
総合支援資金（再貸付）受理	173	92	151	156	342	103	103	128	52	9			1309件
合計	503	520	595	408	597	319	238	312	147	75	85	103	3902件

電話相談

緊急小口資金 5,295件

総合支援資金8,220件

10 生活困窮者自立相談支援事業 ぷらっとほーむ西（みなと寮・西区社協共同体）

1. 事業内容

平成27年4月2日から施行された生活困窮者自立支援法に基づく事業で、生活・自立に関する包括的な相談窓口であり、大阪市西区においては、ぷらっとほーむ西が行っている。下記の法定事業等を展開しており、それらを利用するためのプラン策定についてもぷらっとほーむ西が行っている。また、下記以外にも無料法律相談や各種制度利用に向けた同行支援なども実施している。

- ・住居確保給付金（失業者等に向けた家賃相当額給付制度）
- ・就労チャレンジ事業（一般就労の前段階における日常生活自立を支援）
- ・家計改善支援事業（家計に関する課題を整理・相談）
- ・子ども自立アシスト事業（学習等に課題のある児童の進路相談など）
- ・認定就労訓練事業（一般就労に向けての支援付き訓練就労）
- ・自立相談支援機関による就労支援

2. 令和3年度実績

- ・新規相談受付数 569件（前年度783件） 相談数728件
- ・プラン策定件数 225件（前年度72件）

相談者の類型別（性別・年齢別）
男性295人 女性273人 不明1人

プランの内訳（重複あり）

住居確保給付金	209件
家計改善支援事業	0件
就労チャレンジ(就労準備)	0件
就労チャレンジ(認定就労訓練)	0件
自立相談支援事業による就労支援	132件
生活福祉資金貸付	43件
生活保護受給者等就労自立促進事業	19件

10歳代	2件
20歳代	147件
30歳代	140件
40歳代	116件
50歳代	78件
60～64	34件
65歳以上	44件
不詳	8件

1 1 大阪府共同募金会 西地区募金会

主な業務

- ・10月～12月に実施される共同募金運動による募金の受付
各地域や学校・園、各種団体からの募金を受付及び会計事務
- ・共同募金配分金業務
- ・理事会の開催

1 2 日本赤十字社大阪支部西地区

主な業務

- ・各奉仕団からの社資募集の受付及び会計事務
- ・各奉仕団あて、還元金等の事務
- ・各奉仕団あて、災害援助物品等の支援物品の調査及び配布など

1 3 あんしんさぽーと事業

あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）は、認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、契約（意思の確認が必要）により福祉サービスの利用や日常の金銭管理を手伝い、安心して生活が送れるよう支援する事業として実施している。

1.相談援助件数累計（問い合わせ・相談援助件数） (件)

対象者 事項	認知症 高齢者	知的障がい 者等	精神障がい 者等	不明・その 他	合計
問 合 せ 件 数	1	0	1	2	4
初回相談件数	3	0	1	0	4
相談援助件数	716	162	481	28	1,387
令 和 3 年 度 累 計	720	162	483	30	1,395

2.契約締結件数累計 (件)

対象者 事項	認知症 高齢者	知的障がい 者等	精神障がい 者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
契 約 者 数	1	1	2	0	(2)	4

3.終了件数累計 (件)

対象者 事項	認知症 高齢者	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
終 了 者 数	4	0	0	0	4

4.現在の実利用人員 (人)

対象者 事項	認知症 高齢者	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
実 利 用 人 員	20	4	11	0	35

1 4 通所介護（デイサービス）事業

西区在宅デイサービスセンターは、介護保険施設であり、西区在住の要支援1・2 要介護1～5の方を対象に送迎、入浴、手作り昼食、レクリエーション等のサービスを提供している。ご家族や地域との絆、ふれあいを大切にサービス提供をしている。

1.開所日数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
開設日数(日)		20	19	20	22	21	19
介護給付	月間実利用者数 (人)	28	27	29	27	26	28
	月間延利用者数 (人)	178	142	191	173	183	169
予防給付	月間実利用者数 (人)	17	17	15	15	15	15
	月間延利用者数 (人)	98	92	88	81	90	88
月間延利用者合計 (人)		276	234	279	254	273	257

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)		22	20	22	19	18	21	243
介護給付	月間実利用者数 (人)	26	28	27	30	22	25	323
	月間延利用者数 (人)	192	181	185	164	128	166	2,052
予防給付	月間実利用者数 (人)	15	13	13	12	10	10	167
	月間延利用者数 (人)	90	81	75	56	50	66	955
月間延利用者合計 (人)		282	262	260	220	178	232	3,007

定員18名 1日平均利用者数12人

2.一日の流れ

午前	送迎
	看護師による健康チェック、お茶 入浴（希望者）、個別活動
午後	昼食
	レクリエーション
	ティータイム 送迎

例年であれば、季節の行事や学生の実習、地域学校の職場体験などを行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のためその多くが中止となった。手洗い、消毒、アクリル板の設置、密を避けた対応など、利用者の安全を第一に事業を実施した。



デイルーム（机にアクリル板を設置）



レクリエーション（マスク着用）

1 5 地域包括支援センター事業

平成18年度から大阪市より受託している。現在の受託は令和2年度から5年度末の4年間。専門職種が高齢者に関する総合相談、支援、関係機関との調整やネットワーク強化を行っている。

1. 総合相談支援業務

業務内容	相談件数	内 容
総合相談 (延数)	訪問 1,665 件	本人・家族、地域支援者、介護事業者、医療機関、関係団体などから高齢者の相談を総合的に受け付けている。 本人・家族の状況を把握し、必要な支援を行う他、関係機関の紹介など、ネットワークを駆使した支援を展開している。 地域包括支援センターの窓口での相談だけでなく、地域の会館や集会所や立ち寄り処などに出向いての出張相談を行うなどアウトリーチに力を入れているが、コロナウイルス感染防止対策で訪問等ができない場合は、電話での聞き取りも行っている。なお、花乃井中学校地域では、花乃井地域在宅サービスステーションに包括のランチとして総合相談業務を委託し連携して支援を実施している。ランチの相談件数はこの相談件数とは別に、相談延べ件数が809件、実人員134人であった。
	電話 6,149 件	
	来所 1032 件	
	その他 378 件	
	合計 9,224 件	
	(前年度比+1,621件)	
	うち認知症3,132件	
	(前年度比+428件)	
	実人員1,231件	
	(前年度比+115人)	
	うち認知症289件	
	1ケースあたりの	
	対応回数平均7.5回	
	上記外簡易相談79件	

1ケースあたりの平均対応回数は7.5回であった。平均的には支援困難事例になる前の初期段階で相談があたり、支援につながっていると考えられる。

コロナの影響か令和元年度から令和2年度の相談実員は微増だったが、令和2年度から令和3年度は相談実員が115人（10.3%）増加、延べ相談件数は1,621件（21.3%）増加となった。虐待については通報の意識が高まったのか81件増加している。成年後見制度についての相談も増えている。司法書士など専門家と連携を取って支援している。

また、平成28年から認知症支援に特化した認知症初期集中推進支援事業（西区オレンジチーム）を受託し平成29年度からは認知症強化型地域包括支援センターとして機能している。

月別相談受付実件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実件数	396	445	560	572	580	605	637	643	537	701	560	624	6,860

相談経路

(件)

本人	家族	ケアマネ	住民	民生委員	見守り	町会	ボラ	包括	介護	障がい	医療	後見人	行政		
2,400	1,851	1,676	121	47	181	95	0	147	403	67	689	20	885		
									ランチ	認知症	医療C	生活C	見守り	その他	合計
									109	219	8	4	64	238	9,224

月別では、1月が最も多くなっている。家族からの相談が最も多かったのも1月であり、年末年始に親の変化が心配になり相談につながったと思われる。相談経路では本人・家族・ケアマネジャー・町会・介護事業者・障がい関係・医療機関・行政からの相談が増えている。相談窓口としての周知に力を入れてきた成果であると考えられる。

2. 権利擁護業務

(件)

393件	虐待に関すること	235
	成年後見制度の活用	148
	消費者被害に関すること	10

地域ネットワークにおける成年後見制度受理件数 8件

3. 包括的継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員からの個別相談	1,676 件	支援困難ケースの対応など地域の事業所の介護支援専門員に対して後方支援を実施。
居宅介護支援事業者連絡会	12回 (定例月1回)	居宅介護支援事業者の資質向上のため連絡会を開催し、必要な情報提供や研修会などを実施。
(事務局)	研修会 6回	研 修 会 5/20 報酬改定について 7/15 感染症の理解について 9/16 認知症の診断・治療について 11/18 BCPの取り組み方について 1/20 アセスメントについて 3/17 BCPについて

4. 会議等

地域ケア会議	個別ケース検討 24回 振り返り会議 4回 課題のまとめ会議 4回 自立支援型検討会議 12回 課題対応のための会議 1回	支援困難ケースについて、情報共有や支援方針の検討等、地域支援者やサービス事業者などが一堂に会し、総合調整を行う個別ケース検討会議を実施している。 個別支援方法について、スーパーバイザーの助言を得てまとめ会議を開催し、個別ケースの積み重ねから西区の課題を抽出し、高齢者支援部会等で報告と検討を行い高齢者支援計画をたてている。 平成30年度からは自立支援ケアマネジメント検討会議が地域ケア会議に位置付けられ、平成31年度から毎月実施している。コロナ禍ではオンラインも活用して開催した。
その他ネットワーク構築のための会議	308回 前年度比+46	地域ネットワーク委員会、見守りコーディネーター連絡会、立ち寄り処（すみれ、ジャラナム、ほっこりサロン）などへの参加。
地域等との関係づくり	1,599回 前年度比+11	関係機関や地域関係者に対してネットワーク構築の前段階としてなじみの関係づくりのための訪問活動。
高齢者障がい者支援連絡会	6回	高齢者・障がい者支援を必要とする複合的複雑な問題を抱えた事例が増えておりそれぞれの支援者が円滑に連携支援できるよう平成26年9月に連絡会議を立ち上げ、奇数月に開催している。
高齢者支援担当者部会	3回	高齢者を支援している関係機関の代表者が集い、地域で起きている身近な高齢者に関する話題について情報共有、検討。27年度から偶数月に開催している。
ランチ連絡会	8回	花乃井ランチと情報交換や事業実施についての検討を行い連携を図る。令和3年度から相談対応を重視し連絡会は隔月開催とした。
区運営協議会への出席	3回	3回とも書面会議
地域密着型サービス運営推進会議への参加	20回 (6事業所)	介護保険法で開催が義務付けられている事業所の運営推進会議に参加し、サービスの質の向上等に寄与している。書面会議含む。
包括ミーティング	12回	包括職員間の情報共有、研修の伝達報告、評価・事業計画のための会議、地域診断のための会議など。
ケースミーティング	12回	保健福祉センターも参加して総合相談ケースの支援検討、情報共有。
認知症出張講座	16回	地域住民等に対し認知症について周知啓発を地域で実施。
認知症サポーター養成講座	19回	認知症の理解と啓発として認知症高齢者と家族を地域で支援するための講座。地域住民や学校、金融機関などに向けて実施。西区社協（定例講座）、金融機関、企業、歯科学院、中央図書館、ボランティアグループ、地域団体等

認知症等高齢者 支援地域連携事業 連絡会議	5回	医師会委託事業を共催。医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業者連絡会、居宅介護支援事業所連絡会、保健福祉センター、地域包括支援センター、オレンジチーム。
4事業者連絡会	4回	平成29年9月～隔月開催。 地域包括支援センター、認知症初期集中支援事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業。ランチと保健福祉センターも参加。

会議開催 1,890回、参加 133回 合計 2,023回

5. 介護家族支援関係事業

事業名	開催回数	内 容
高齢者 介護家族の会 (あざみの会)	休止中	高齢者を介護する家族間の交流を通して相互の情報交換や専門職からの情報提供を行う。平日昼間に参加できる家族がいないため休止中。家族支援は個別対応中。
家族介護 支援事業 (ランチと共催)	4回	高齢者を介護する家族を対象に情報提供・意見交換を行う機会の提供等を通し、介護者の介護負担軽減や心身のリフレッシュを図る。適切な介護知識・技術や各種サービスの利用方法の習得、認知症の理解・普及、当事者組織の育成・支援を行う。令和3年度はリンパマッサージ講習会、体操教室を開催。学んだ体操を自宅で継続できるよう、「自宅でできる曜日別運動ハンドブック」を作成し配布。
認知症の方を 介護している 家族のつどい	4回	認知症の方を在宅で介護している同じ立場の介護家族どうして話し合う場・情報を得る機会を設けるため平成24年度から、参加者に負担がかからないよう年4回実施。毎回、初めて参加の方がいる。年1回は認知症専門医を囲んでの座談会を実施している。 講師：日本生命病院精神科・神経科 鈴木由貴医師

6. 介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント（総合事業）ケアプラン作成件数

要支援1・2の認定者に対し、要支援状態の改善や重度化予防のためケアマネジメント支援を行う

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援（包括）	16	17	17	17	15	14	14	14	14	15	14	13	180
介護予防支援（一部委託）	402	405	410	404	402	395	397	392	401	407	396	381	4,792
ケアマネジメント （包括）	13	12	11	10	9	10	9	8	9	9	7	6	113
ケアマネジメント （一部委託）	313	305	294	296	299	304	302	303	308	298	288	295	3,605
合計	744	739	732	727	725	723	722	717	732	729	705	695	8,690

一部委託契約しており実動している居宅介護支援事業所数 67か所

7. その他

(1) 支援システム

徘徊行方不明高リスク高齢者の支援システム作り（オレンジチーム、西警察署と協働）

(2) 発行物

西区地域包括支援センターニュース（包括レンジャー） 平成21年9月～ 毎月1日に3,500部発行 区内外約200か所に設置・掲示・配布 西区社会福祉協議会ホームページにも掲載、毎月更新	毎月発行
西区高齢者便利帳 第25号（春号）、第26号（秋号） 各500冊	年2回更新

1 6 認知症初期集中支援推進事業

1. 認知症初期集中支援チーム活動

認知症になっても住みなれた地域で生活ができるよう、早期発見・早期対応を軸に専門のチーム（医療職・介護職・福祉職）が相談・訪問等で支援する。

(1) 支援状況

支援対象者（対象者数 34件）の内訳

性別	男	13	相談把握 経路	本人	0
	女	21		同居家族	9
年齢	64歳以下	1		別居家族	8
	65～69歳	0		医療機関（病院）	2
	70～74歳	4		医療機関（開業医）	0
	75～79歳	9		包括支援センター	4
	80～84歳	8		ケアマネジャー	2
	85～89歳	10		警察	4
	90歳以上	2		区役所（ケースワーカー）	1
世帯 状況	独居	16		見守りコーディネーター	0
	夫婦	7		近隣住民	2
	未婚の子と同居	3		町会	1
	配偶者と子と同居	4		家主・管理人	1
	子と同居	1		友人	0
	その他親族と同居	1			
	配偶者と親と同居	1			
	知人	1			

(2) 診断

鑑別診断	アルツハイマー型認知症	9	認知症+感情障がい	1
	脳梗塞	1	なし（健常）	2
	前頭葉側頭型認知症疑い	1	不明（未受診）	10
	MCI	4	支援中	1
	認知症（病型不明）	3		
	若年性認知症	1		
	老人性精神病	1		

2. 認知症地域推進員における普及啓発活動

認知症の方の視点に立った認知症の理解を地域で深め、社会全体で認知症の方を支える地域づくりを推進する。

(1) 講演会等に講師・情報提供者として参加

- ・認知症サポーター養成講座（図書館、企業等）
- ・介護家族のつどい
- ・出張相談窓口
- ・各地域会館や認知症カフェ等つどいでの認知症講座

(2) 認知症の方を支援する取り組み

- ・認知症カフェ運営後方支援

(3) 若年性認知症の取り組み

- ・若年性認知症相談窓口ポスターの作成および区内広報板等での掲出

(4) 関係機関との連携

- ・4事業連絡会
- ・高齢者障がい者支援連絡会
- ・高齢者支援担当者部会

17 介護予防教室事業

介護予防教室事業は65歳以上の方で生活機能の低下の恐れが高いと認められた方を対象に、年齢を重ねても自分らしくいきいきと生きがいをもって暮らすための取り組みとして実施している。

1. 選択型通所サービス

対 象 …… 要支援1・2 チェックリスト該当者

実 施 曜 日 …… 月曜日の午前中

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	4	3	4	3	4	3	4	5	4	3	3	3	43
実人数	18	7	12	7	8	5	17	14	9	4	3	3	107

2. 閉じこもり等予防事業（なにわ元気塾） ※西区では「いきいき教室」として実施。 (人)

実施場所	回数	一般参加者数	ボランティア	実施場所	回数	一般参加者数	ボランティア
西 船 場	11	91	0	高 台	10	71	0
江 戸 堀	11	96	0	日 吉	11	118	0
靱	11	85	0	千 代 崎	11	64	0
明 治	11	91	0	本 田	11	157	0
広 教	11	63	0	九 条 東	9	84	0
西 六	11	79	6	九 条 南	8	121	7
堀 江	11	122	11	九 条 北	10	101	0
				合 計	147	1,343	24



18 西区老人福祉センター

西区老人福祉センターでは、市内に在住の60歳以上の方に健康で楽しい生活をしていただくため各種の相談に応じ、健康増進や仲間づくりの機会の提供などの事業を行っている。また、西区老人クラブ連合会の事務局も併設している。

- ・各種教養講座や健康づくり講座の開催
- ・自主的活動（サークル活動や同好会）の支援
- ・レクリエーション活動の機会の提供



おもしろ体操

1. 令和3年度 西区老人福祉センター利用状況

開 館 日 数	249日
延 利 用 人 員	11,698人
更 新 ・ 新 規 登 録 人 員	307人
1 日 平 均 利 用 人 員	46.9人



作品展



かなえる健康広

個人利用内訳 ※その他は、60歳未満の来館者・（ ）内は登録者数

性 別	人 員	利用者 区 分	個 人 利 用	団 体 利 用		計
				件数	人 員	
累 計	男	老 人	3,634(59)	17	61	3,856(59)
		その他	151		10	
	女	老 人	7,601(248)		51	7,842(248)
		その他	145		45	
		計	11,531(307)	17	167	11,698(307)

2. 令和3年度 西区老人福祉センター サークル活動状況

サークル名	実施回数	男性	女性	合計人数	サークル名	実施回数	男性	女性	合計人数	サークル名	実施回数	男性	女性	合計人数	合 計	
編 物	15	0	77	77	太極拳	13	0	30	30	ヨ ガ	1	0	27	27	実施回数	223
お 茶	0	0	0	0	カラオケ	1	6	14	20	和太鼓	6	5	20	25	男性人数	147
民 踊	13	11	61	72	アート丸糸	14	0	150	150	オカリナ	0	0	0	0	女性人数	1690
詩 吟	13	28	65	93	絵手紙	15	14	185	199	お 琴	14	5	68	73	合計人数	1837
俳 句	7	22	29	51	唱 歌	0	0	0	0	絵 文	15	0	103	103		
お花 (A)	9	0	37	37	俳 画	12	12	123	135	健康太極拳	14	25	172	197		
お花 (B)	9	0	59	59	たんぽぽ	0	0	0	0	健美体操	0	0	0	0		
お花 (C)	10	0	54	54	ペインティング	12	6	44	50	ピアノで歌おう	6	10	96	106		
民 謡	0	0	0	0	手 芸	8	0	73	73	雀の学校	6	3	38	41		
					フラダンス	8	0	142	142							
					コーラス	2	0	23	23							

3. 令和3年度 西区老人福祉センター事業報告

※コロナ禍により一部事業中止

事 業 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
いきいき 百歳体操	毎週 月・木	中止	21日～ 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	毎週 月・木	239回 3,726人
はっぴーサロ ン	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	事業中止
お誕生会		中止		中止		中止		中止		中止		中止	事業中止
歩こう会													事業中止
作品展							10月27日(水) ～ 11月16日(火)						15回 438名
お茶席会	中止						中止						事業中止
ゆったり エアロ	13(火)	中止	中止	13(火)		14(火)	12(火)	9(火)	14(火)		8(火)	8(火)	8回 159人
楽しい リトミック	8(木)	中止	中止	8(木)		中止	14(木)	11(木)	9(木)	13(木)	10(木)	10(木)	8回 160人
ボールとチュー プでストレッチ	1(木)		中止	中止	5(木)	2(木)	7(木)	4(木)	2(木)		3(木)	3(木)	8回 152人
レクリエーショ ンとタオル体操	21(火)	中止	中止		18(水)	15(水)		17(水)	15(水)	19(水)	16(水)	16(水)	8回 158人
かなえる 健康広場			中止		26(木)			25(木)			24(木)		3回 59人
すこやかマッ サージ&ダンス	中止		中止	28(水)	25(水)	22(水)		24(水)		26(水)			5回 98人
おもしろ体操		中止				30(木)			24(木)				2回 40人
ウェルネス ダーツ教室			29(火)		中止		23(土) 世代間 交流		22(水)				3回 46人
らくてん西寄席					中止						19(土)		1回 20人
ニュースポー ツ大会					2(月) 世代間 交流						中止		1回 67人
書道体験 教室									17(金)		15(火)		2回 21人
スマホ講座				15(木) 30(金)				2(火)				23(水)	4回 43人

特殊詐欺 防犯講話												10(木)	1日3回 43人
保健師による 指導												17(木)	1日3回 42人
わらべうたと昔話									中止	中止			事業中止
講師・世話人会						17(金)							1回 15人
その他					12(木) レントゲン		21(木) ツボ講座	16(火) 演奏会	1(水) 終活講座				4回 64人

19 西区子ども・子育てプラザ事業

1. 子育て活動支援事業

乳幼児親子・児童等の交流の場所提供はもちろん、地域の子育て活動支援者の交流の場所として、子育て活動に関する講座やイベントを開催し、子育て層を応援するとともに、さまざまな子育て活動を支援した。新型コロナウイルス感染症拡大の中で世代間交流事業やまち探検、職場体験学習の受入れ、地域出前講座など様々な取り組みが中止になったが、感染予防対策をすることにより可能な限り実施することが出来た。

- ・子育てに関するさまざまな相談や情報提供
- ・子育て活動を行うグループに対する活動への助言や活動場所の提供
- ・プラザを利用しにくい方に向けて出前講座を実施（アウトリーチ事業）
- ・自由な遊び場の提供やボランティア活動などの実施（児童健全育成事業）

利用者数	8, 838人
開設日数	247日



【シャボン玉であそぼう！】

2. ファミリー・サポート・センター事業

子どもの預かり・幼稚園・保育所などの送迎や、臨時的・突発的な保育ニーズに応えるために、子育ての援助ができる人（提供会員）と援助を受けたい人（依頼会員）とを組織化し、会員同士による子育ての相互援助活動を実施するための調整業務や提供会員増員の講座等を実施した。

援助活動件数
496件

登録会員数	155人
依頼会員	104人
提供・両方会員	41人

3. 地域子育て支援拠点事業

乳幼児期の親子が気軽に利用し、遊び場所の提供や自由参加の講座やイベントで保護者同士の交流や、地域の様々な情報提供を行った。緊急事態宣言等の中で事業休止期間もあり、様々な講座やイベントも中止になったが、事業再開後は、つどいの広場を人数制限・予約制・時間制で実施したり、ブックスタートなども感染予防対策をとりながら実施することができた。

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育てに関する相談及び援助の実施
- ・ブックスタートの実施（絵本の配付と図書館司書による絵本の解説等）

利用者数	5, 588人
開設日数	247日



【つどいの広場】

20 コミュニティ育成事業

平成31年に西区役所より事業を受託。

地域コミュニティの活性化と地域の福祉力向上のため子どもから高齢者まですべての住民が参加できる事業・イベントを区内の5団体（青少年福祉委員連絡協議会、青少年指導員連絡協議会、子ども会連合協議会、スポーツ推進委員協議会、視聴覚教育協議会）や地域振興会、三師会、消防署、警察署、区民センター、老人福祉センター、子ども・子育てプラザ・更生保護女性会、ボランティア・NPO団体、民間企業など多くの地域団体と協働で、住民主体の事業実施を支援。

【事業実績】

1 西区民まつり「体育と防災のつどい」

◆現地開催中止 新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発出等の影響のため
令和3年10月3日 体育と防災のつどい《松島少年広場》

◆WEB「体育と防災のつどい」開催 関連の配信

配信期間 令和3年10月3日(日)～11月30日(火)

サイト OSAKA西区民まつりサイト内

閲覧数 1,462回

開催内容 西区民まつり「体育と防災のつどい」現地開催が中止となり、各団体よりWEBコンテンツを提供頂いた。懸賞付きクイズを実施。



大阪市西消防署提供情報



みんなの動画
過去のアーカイブ

2 西区民まつり「文化と健康のつどい」

◆現地開催中止 新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発出等の影響のため
令和3年11月7日 文化と健康のつどい《西区民センター・土佐公園周辺》

◆WEB「文化と健康のつどい」開催 関連の配信

配信期間 令和3年11月7日(日)～11月30日(火)

サイト OSAKA西区民まつりサイト内

閲覧数 2,939回

開催内容 西区民まつり「文化と健康のつどい」現地開催が中止となり、各団体よりWEBコンテンツを提供頂いた。懸賞付きクイズを実施。



3 西区民たこあげ大会

開催日時 令和4年1月16日(日) 午前10時～午後1時
開催場所 松島野球場
参加者数 1,000人
開催内容 恒例となった「西区民たこあげ大会」は年々参加者が増加し、松島少年広場が手狭になったため、会場を松島野球場へ移して開催する。前日に松島野球場へ音響テストやテントの設置場所などの設営準備を行った。当日はたこの販売とたこづくりコーナーたこ病院コーナーを設置した。



4 こどもワクワク映画会

開催日時 令和4年2月11日(祝・金) 午前11時～午後0時30分
開催場所 西区民センター ホール
参加 69名
開催内容 上映作品：「ミニオンズ」
対象：幼児から小学生とその保護者
定員：150名
事前予約申込 指定席制
申込方法：西区社協ホームページからWEB申込
申込受付期間：令和3年12月1日～12月15日 定員に達したため申込受付を終了する



実施期間 令和3年4月～令和4年3月
内 容 コミュニティ育成事業の内容や西区で行われているコミュニティ情報を発信し、事業への理解を促すとともに、地域のネットワークの構築と向上を図った。
・区社協広報紙を年3回(6月、10月、1月に) 45,000部発行し、5大紙に折り込み配布。
・区広報紙により随時(8月、12月、1月) 事業を周知。
・ホームページやSNSによる情報発信。